

### 【クーリングシェルター】

相変わらず暑い毎日が続いていますが、先日の『熱中症警戒アラート』の続きになります。全国各地でクーリングシェルター（指定暑熱避難施設）を指定しているそうです。

相模原市にもクーリングシェルターを公共施設及び民間施設に対し指定をしているとの事です。

病院は特性上「クーリングシェルター」になることは難しいですが、熱中症対策のひとつとして各施設を活用してみたいかがでしょうか。

指定暑熱避難施設  
クーリングシェルター  
COOLING SHELTER



〔色は様々なようですが、このようなロゴやマークが目印のようです〕

今年の夏は、昨年以上の暑さとも言われています。その証拠に、すでに7月の間だけでも猛暑日が11日間（横浜）。<sup>※1</sup>1994年～2023年の30年の平均年間日数は約2.9日ということなので、今年がいかに熱いかがうかがえます。

相模原市消防局によると、<sup>※2</sup>令和6年度上半期の救急出場件数は過去最多を更新。令和6年上半期の救急出場件数は20,821件、搬送人員は17,518人で、前年同期と比べ救急出場件数は307件、搬送人員は724人増加。上半期の救急出場件数及び搬送人員は、共に過去最多を更新したとの情報です。

熱中症での搬送も多く含まれていると推測します。

今後は『熱中症警戒アラート』を超えて『熱中症特別警戒アラート』（広域的に過去に例のない危険な暑さ等となり、人の健康に係る重大な被害が生じるおそれ。自分の身を守るだけでなく、危険な暑さから自分と自分の周りの人の命を守る）にも注意が必要そうです。

※1 全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）「日本の猛暑日の日数は増えているの？」より

※2 令和6年7月25日 相模原市発表資料「令和6年上半期(1月～6月)における市内の火災及び救急の概要について」より